

高速無線 LAN 技術等を活用した 観光情報支援システムに関する調査検討会 開催趣旨

北陸地域は、日本三大名園の一つである「兼六園」、世界遺産リストに登録された「五箇山合掌集落」、越前加賀海岸国定公園の「東尋坊」など、世界的にも有名な観光地や名所旧跡が多数存在しており、毎年国内外から多くの観光客が訪れている。

観光地においては、地元の観光施設・観光協会等が開設するホームページや旅行雑誌のほか、パンフレットやたて看板などにより観光情報の提供を行っているが、必要なときにどこにいてもきめ細かにサービスを受けることが難しい状況である。

かつて、金沢市内の主要の観光地では、観光情報を補完するシステムとして、微弱無線局を活用した観光情報システムを開設し、音声による観光ガイドを行ってきたところであるが、音声のみでの情報提供には限界があり、現在はその利用は停止している。

近年、情報通信技術の進展により、光ファイバーと遜色のなく高速化が図られている無線 LAN や携帯端末向けサービス（通称「ワンセグ」）の映像送信技術を活用して、観光地や美術館等において高精細の映像や数カ国語による音声案内などを提供することが可能となっている。

このような状況を受け、電波を利用して地域の観光産業の支援に資することができるよう、高速無線 LAN 技術等を活用した観光案内の支援システムを構築し、通信試験を通じて求められる性能・機能などの検証を行うことにより技術的条件等の検討や実現に向けた課題と方策を明らかにすることを目的として調査検討会を開催する。